



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

さわらび

2

医学
講話

慢性疾患なりたちの図柄

◆老人保健施設ジュゲム 施設長
東京大学客員研究員

金井 芳之

8

特集

地域包括支援センター

～いつまでも住み慣れた地域で暮らすために～

2010
vol.446

6



咲いた
咲いた
すてきに咲いた





医学講話

慢性疾患なりたちの図柄

老人保健施設ジューゲム 施設長
東京大学客員研究員

金井 芳之

はじめに

現代社会は個々の分野における専門化が極度に進み、「専門音痴」現象が増えつつあるようにみえる。つまり「木を知って森を知らず」である。医学の世界も最近その傾向が強い。このような背景から筆者は今回、門外漢だが敢えて老化促進に関係の深い慢性疾患、特に心・脳血管病およびその近縁病態の相互関係（相関）を単純かつ平易に解説してみた。

急性心停止を除外すれば、心機能を支えている冠（状）動脈の硬化・狭窄による血液循環不全に伴う心筋の壊死（阻血による心筋細胞の破壊）である。冠動脈硬化に至る要因は多彩であるが、断言できることは、物心がついてからの生活スタイルと生環境である。環境を一概に定義することは簡単ではないが、内的外的なものがある。内的環境はここ数十年注目を浴びてきた体質、つまり遺伝子、より専門的にはゲノムと言われているもので、その多形性（ポリモルフィズム）である。より詳しくは遺伝子を形成している塩基の変化である。一般には一塩基のみ変異があるためsingle-nucleotide polymorphism (SNP) と呼ばれている。少し難しくなるが、SNPによって発現される機能または構造遺伝子

産物に、疾患発症の感受性が付与されるもので、これは運命的な仕事であると言える。一方、外的環境は居住地の気象条件、行動や食習慣の偏り（偏食）、長期に渡る睡眠不足、そして過労などが挙げられる。

さて、心・脳血管疾患であるが、先に述べたようにその発症には長年にわたって幾多の段階を経る。筆者は「ジューゲム」の入所者をお世話させて頂いてから早7年になるが、個々人の病歴や現症をみていくと生スタイルや生活環境が疾患発症に強く関わっていることが見えてくる。内的環境が疾患発症に拍車をかけることは勿論であるが、外的環境が好ましくなかった結果生じやすいのが肥満である。先に述べたように地域的、民族的特徴があつて、アメリカ合衆国などでは歩行も困難なほどの

ビール樽とも称される肥満な人をよくみかけるが、必ずしも高血圧や心疾患につながる場合も多々あるようである。しかし日本人の肥満にはアメリカ合衆国での状況とは違って、高血圧や心疾患が伴う例が多いようである。

肥満とは力士は例外として、一般的には脂肪細胞がたくさん脂肪を蓄えた場合、脂肪細胞が増える場合、およびその両者が共存する状態とすることが出来るかと思う。肥満には皮下脂肪細胞の肥大・増殖と内臓脂肪細胞の肥大・増殖との二種類がある。皮下脂肪は腹部も含めて皮膚をつまんでみれば肥満の程度はおよそ計れるが、内臓脂肪は腸間膜、後腹膜（こうふくまく）や大網（たいもう）にある脂肪細胞の肥大・増殖であるため、肥満の自覚はないのが一般的である。高血圧、心疾患や脳梗塞に発展しやすいのは自覚の薄い内臓脂肪細胞のほうである。脂肪細胞は形態学的には、一見何の変哲



もない形をしているものの、最近の研究で脂肪細胞はホルモン産生器官であること、インスリンの感受性や動脈硬化を調節しているアデポネクチンを分泌することが明らかにされている。なお筆者の推測であるが、生体にとってよい脂肪細胞と悪い脂肪細胞があるかもしれない。事実、内臓脂肪細胞からは血中の単球（モノサイト）をマクロファージに分化させる単球遊走因子（MCP）の産生が見いだされ、分化したマクロファージが血管内皮細胞に作用して動脈硬化を促進させることも分かってきたので、推測は現実化するかも知れない。

内的環境は勿論であるが、外的環境が好ましくなくて生じるものに高血糖状態がある。高血糖状態とは平たく言えば甘いものをたくさん食べた後の高血糖値が、食前食後の変動はあるものの、常時持続されている状態だと筆者は理解している。この状態は食事制限やインスリンを分泌

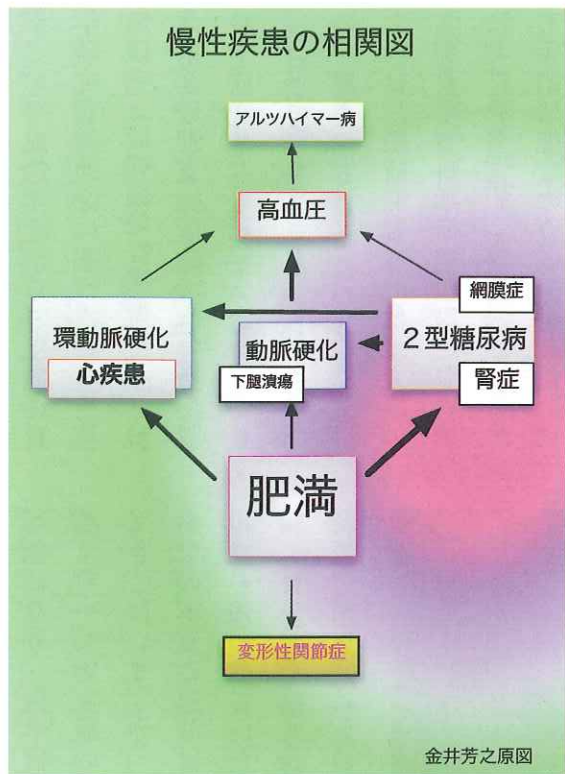
する膵臓の機能を投薬で補助することとで治療できる二型糖尿病と呼ばれるものである。高血糖状態が常時維持されると血中成分、例えば酸素を運ぶヘモグロビンが糖化（グリケーション）されることが知られていて、その指標であるHbA1cは日常診断に使われている。糖化現象は血管内皮細胞の構成要因でもあるコラーゲンにも起きる。糖化された血管内皮コラーゲンは血液中のコレストロールの一部であるLDLを捕捉する。捕捉されたLDLは前述のMPCによって

単球から分化したマクロファージに取り込まれ、所謂泡沫細胞となり集簇し、血管壁に炎症を来す。これが血管壁広域にわたって動脈硬化を引き起こすのである。その終焉が心筋梗塞であり、脳梗塞である。最近ではこの動脈硬化がリウマチ性疾患やアルツハイマー病の発症にも少なからず関与すると言われている。

ふたたび肥満であるが、肥満で被害を被るのが膝関節、股関節そして椎間（脊椎骨）関節である。これらの関節に過剰な荷重が掛かり、初期には軟骨の消滅、次いで骨の変形と炎症で変形性関節症の発症となる。その促進因子が悪い姿勢と、ダイエットと称して行

われる不適切な運動である。成人病が同世代にちらほら見られるようになってから始める不適切な運動は墓穴を掘ることになる。

以上述べたように日本人では基本的には肥満が慢性疾患への入り口であることが分かる。挿入図はそれを分かりやすく示したものである。なお、図に示された幾つかの病態についての説明は字数の関係から割愛した。特に触れなかったが、加療中の不適切な投薬は慢性の医原病を創ることにもなる。内的環境と外的環境の悪いところが相俟って加齢とともに慢性疾患が発症する確率が高い。疾患は一つではなく数種類に至る。この状態を英語ではComorbidityと表現するが、中々しゃれた語彙だと思ふ。慢性疾患の予防には日頃のライフスタイルが肝心で、初期病変に早く気づき要支援、要介護にならないよう適切な加療が重要である。



と称して行

福祉村病院

長寿医学研究所

副所長

赤津 裕康

先月の「さわらび」にもありましたが、愛知医大名誉教授（前愛知医大加齢医学研究所所長、前神経病理学会理事長）の橋詰良夫先生にこの4月からご赴任いただきました。これはこの間の我々の活動に対する評価と考えてもよいと思います。それに伴い、神経病理研究所が設立されました。施設はこれまでのPET（放射性同位元素）実験室・機械室であった場所を改装していただき、所長室、共同検査室の他、保管室も設置されこれまでの神経病理サンプルを一箇所で集中的に管理していくことが可能になりました。

加えて、福祉村ブレインバンク

がこの平成22年度から5年間の科学研究費補助金に基づく新学術領域研究（研究領域提案型）「生命科学系3分野支援活動」「包括型脳科学研究推進支援ネットワーク」(<http://www.hokatsu-nounips.ac.jp/>)の一翼を担うことになりました。

これは、脳研究領域では最大級の文部科学省科学研究組織で脳科学における新手法・新領域の芽を育て、若手脳研究者の育成を行うための活動していくこととなります。その中で我々は神経精神疾患の研究リソース分野での神経疾患解明を担い、東京都健康長寿医療センター高年齢者ブレインバンク研究部長・村山繁雄先生を中心に脳血管研究所美原記念病院 神経難病・認知症部門部長 高尾昌樹先生と三者でチームを組んで進めていきます。

可能になり、医学研究において細胞培養や動物実験の重要性は増してきてはいますが、やはりヒトの病気の本質に迫るには患者さんの組織を使わせていただくことで展開される研究が非常に重要です。特に認知症、ヒトの脳の病気に関



してはモデル動物での研究には限界があります。加えて臨床に携わる医師にとって、その診断・治療が本心に正しかったかどうかを教えてください。先生は患者さんのご遺体そのものです。病理解剖は主治医にとって、その後の医師生命を左右するといっても過言ではないと私は思います。私もそういう意味で心に残る患者さんへの福祉村で沢山経験させていただきました。病理解剖は臨床で疑問が多ければ多いほど、目から鱗が落ち、経験させていただくたびに臨床能力が上がるのを実感いたします。

今後、包括脳ネットワークでは病理診断解析にとどまらず、国内外の神経科学研究者と組んで病因の解明、診断法・治療法の確立のために更に効率よく研究を推し進めていく体制が築かれると思います。このようなネットワークは欧米ではすでに確立されていますが、本邦では本年がスタートです。

今年度は期せずして、橋詰先生のご着任、神経病理研究所の設立と文部科学省からの包括脳研究分担研究を申し付かり新たな一歩を刻む年になりました。これまで以上に気持ちを引き締めて頑張っていきたいと思えます。

さわらび大学 レポート

2010年5月13日 講義

「認知症について」認知症の記憶力障害とBPPSDを減らす快適な生活環境」

◎講師：福祉村病院 副院長

伊莉 弘之先生

認知症というのは、記憶が悪く、考えて判断して行動することで失敗する状態を言います。記憶力というのは、ちょっと前のことを憶えておく能力をいいます。脳の中では海馬という部分が中心の役割を果たしています。アルツハイマー型認知症では、この記憶力障害が典型的ではつきりとしています。

「ちょっと前のことをすっかり忘



●プロジェクターを使いながら講義をすすめる伊莉先生

れる」という状況を模擬体験していただきます。アンケートなどの書類をコンピューターに打ち込む仕事をしたくないといけないのですが、どうみても1時間はかかる仕事です。始めましたが眠いので、アラームをかけて10分だけ机に伏せて眠ることにしました。ふと気がついて時計を見るとすでに1時間以上経過しています。アラームも止めてあるので寝過ぎたと思います、仕事を再開しました。するとどうでしょう。そのコンピューター入力の仕事はすでに全部完了しています。寝過ぎしてしまった間に

誰かがしてくれたと思いい、周りの人に感謝すると、みな笑いながら言うのです。自分がアラームを止めて猛然と入力をして、終わったと背伸びをして5分くらい再び伏せていたと。しかし、それは事実ではない、やはり誰かが自分のかわりに仕事をしてくれて、みなで嘘を言っていると感ずるので。

認知症の方がものを盗まれたと騒いでいることがよくありますね。レジカメでその時の状況を撮影していたとしたら、実際には、その認知症の方が大切なものを自分で勝手にいつも置いてある場所からどこか違う場所に移動させたのに、その1、2時間後に自分のしたことをすっかり忘れてしまい、無くなったとか、盗まれたと騒いでいる、それが第三者からみた客観的な事実です。しかし本人にとっての真実は異なります。自分のしたことをすっかり忘れていたので、いつもある大切なものが突然、忽然となくなってしまうと感ずるので。こんな紛失の仕方は、

泥棒か誰かが盗んだに違いないというのが認知症にとっての事実なのです。

ものたられ妄想がおこってしまったら、一緒に探すと、他のことに関心をそらしてみ、などの対応をしないといけないのですが、ものたられ妄想が起らないような日頃の生活環境整備が一番大切なことなのです。いま生活しているところが快適で、幸せで、気分がよいと感じていたら、お金や通帳など気にならなにか少しくらいは大丈夫という感覚にもなります。認知症の方が「幸せだなあ、私はここにいる時が一番幸せだ。」と感じる生活空間と時間を提供するのがプロの中のプロの認知症ケアと考えます。



福祉村病院だより

◆外来患者用駐車場が 増設されました

昨年実施した「患者（ご家族）様満足度調査」で要望がありました外来患者用の駐車場を増設しました。ジューゲム北側出口の自転車置き場前（四台分）と変電所前（七台分）です。どうぞご利用ください。（坂柳）



※増設された駐車場はジューゲムの北側です。（従来の駐車場は南側）案内看板に従ってご利用下さい。

◆活躍する福祉村病院の ドクター

今年度も多くのドクターが名誉教授、非常勤講師に就任されました。

●愛知医科大学医学部非常勤講師
医療法人さわらび会

理事長 山本孝之先生

●愛知医科大学医学部名誉教授
福祉村病院 神経病理研究所

所長 橋詰良夫先生

●名古屋市立大学大学院
医学研究科非常勤講師

福祉村病院 先端医療担当

副院長 岡田秀親先生

福祉村病院 長寿医学研究所

副所長 赤津裕康先生

●名古屋市立大学医学部非常勤講師

福祉村病院 長寿医学研究所

所長 奥田研爾先生

福祉村病院 長寿医学研究所

副所長 赤津裕康先生



第二さわらび荘の 家族会活動

◆特別養護老人ホーム 第二さわらび荘

去る、平成二十二年四月二十九日（約六十名の方の参加があり平成二十二年度第二さわらび荘家族会総会が開催され、以下の件ご承認いただきました。

- ①月二回の「家族会デー」の実施。
- ②家族会支援費の実施。
- ③施設共催の「夏祭り」の実施や共同行事「文化祭」等のお手伝い。
- ④衝撃吸収マットのリース。

新たに身体拘束を行わない介護を目指し第二さわらび荘の運営方針を支援するために実施。

また、当日福祉村地域包括支援センター三田氏を招き「認知症サポーター養成講座」も併せて開催しました。皆様介護をされてきた方達です。皆様介護をされてきた方達です。素晴らしいサポーターとして活躍してくれることでしょう。

この様な家族会活動は大変素晴らしいものです。家族会の皆様のご協力に感謝するとともに、今後もサピスの向上を日々研鑽してまいります。と思います。

（金森）

しるがね内でも リハビリがスタート

◆福祉村障害福祉サービス事業所 しるがね

理学療法士によるリハビリがしるがねでもスタートしました。しるがねを利用される障害者の方にとってリハビリの希望も高く、昨年度は二十九名、年間のべ二、六一五名の方が珠藻荘でリハビリを実施してきました。さらに希望者も多い中、今回理学療法士の資格を職員の鳥居浩平が取得したため、本格的にしるがね内でも実施することができるようになりました。

（石黒）



4月22日に、若菜荘のおじいさん、おばあさんを保育園にお迎えして、ふれあい会が行われました。ちぎり絵で手作りした「シンデレラ」の紙芝居を読み聞かせて下さるということで、この日を心待ちにしていた子ども達。お話が始まると少し緊張していた顔も次第にほころび聞き入っていました。

また、歌遊び「こどもの王様」では、王冠を頭にのせたかわいらしい子どもの姿と、みんなの歌声、手拍子に恥ずかしがり譲り合っていたおじいさん、おばあさんも子どもと手を握り合い微笑ましい王様ペアがたくさん誕生しました。慣れてくるとおじいさんの膝の中にちょこんと入りうれしそうにしている姿や手をつなぎ微笑みあう姿など、ほのぼのとした交流会になりました。最後に子ども達からのプレゼントと交換に折り紙の「こま」をいただき楽しい一時を過ごしました。(鈴木喜)



福祉村保育園 だよ!



あかね荘自治会開催 〜新しい規約と役員選出〜

四月十六日に、今年度の第一回あかね荘自治会を開催致しました。

今回、自治会規約を入居者の方々にも分かりやすい形で新たに作成し、その規約に則った選出方法で役員三名が選ばれました。会長には大島さんが、副会長には青木さんと平野さんの二名が選出され、元氣よく抱負を述べられました。

また、今回は四月生まれの入居者の誕生会も行い、バースデーソングを聞きながら軽食を楽しみました。

今後の自治会では、新たな規約を基に、誕生会のように入居者の皆さんが少しでも楽しめる企画がもちあがるように応援していきます。と思っています。(永瀬)



ズボンプレス機の 導入!

◆障害福祉サービス事業所 明日香

クリーニング作業を通して利用者への支援をする明日香の就労継続B型事業へこの五月、念願の「ズボンプレス機」が導入されました。ズボンのタック付けが難しく、従来一部の利用者の仕事であったこの行程も、機械の簡単な操作で多くの皆さんの参加が可能になりました。機械化など今後も積極的に取り入れ、利用者の仕事への意欲の向上や、効率アップにつなげていきたいと思っています。(山本)



お知らせ

障害者支援施設あかね荘

元施設長 安形 健郎

平成十九年十二月三十一日付懲戒解雇は撤回。同日付合意退職。

特集

地域包括支援センター

～いつまでも住み慣れた地域で暮らすために～

地域包括支援センターの役割

地域包括支援センターは、平成十八年の介護保険法改正にもない創設された機関です。豊橋市長寿介護課より委託を受け、市内十五ヶ所の事業所があります。さわらび会では、「さわらび地域包括支援センター」「福祉地域包括支援センター」があります。

幾つになっても住み慣れた地域で健やかに生活できるように、高齢者やそのご家族の皆様を「医療・保健・介護・福祉」など様々な方面からサポートさせていただいており、主な業務内容として次のことを行っております。

① 総合相談

高齢者の方やそのご家族、地域の方など様々な相談を受け、必要であればご自宅まで訪問させていただき、どのような支援が必要かを把握し、適切な機関、サービスに繋げていきます。

② 権利擁護

高齢者に対する虐待、消費者被害

などの悪徳商法による被害の防止など、高齢者の権利が犯されないように支援していきます。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント

高齢者の心身の状況や変化に対して、いつでも適切なサービスが受けられるように、医療機関との連携や地域のケアマネジャーの後方支援を行っております。

④ 介護予防ケアマネジメント

介護保険申請のお手伝いや、要支援1・要支援2と認定された方が、可能な限り自立した生活が送れるように、心身の状況を確認しながら計画書を作成させていただいております。また、介護認定は受けていなくても、心身の状態が少しずつ衰えてきた方に、予防と改善のために助言や支援を行っております。

様々な相談や支援ができるように、



保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士等が配置され、それぞれの専門性を活かしながら、チームとして業務を行っております。地域の皆様、身近な相談機関としての役割を果たせるよう取り組んでいます。

(勝山)

地域の皆様との交流

さわらび地域包括支援センターは市内東部地域に所属しており、今年度介護予防普及啓発活動推進事業の重点地域になっています。この推進事業は、地域の皆さんに地域包括支援センターの役割について知っていただくための事業です。

内容としては、一般高齢者の方へ、介護予防の意識の啓発と各種講座のご案内、認知症予防のための地域活動の周知などです。そのため、老人クラブ、民生委員の定例会に参加させて頂いて、顔の見える関係作りに取り組んでいます。

五月五日には、嵩山校区老人クラブ、六日には西郷校区老人クラブに参加して、集まれた多くの皆様に、

地域包括支援センターの役割を説明させて頂きました。

また、五月十二日には、牛川・下条民生委員定例会に参加して、消費者被害の予防についての講座を行いました。民生委員の皆様と私たち地域包括支援センターは、共に高齢者の相談を受ける立場として、今後も連携をしていきます。

さらに、五月十三日には、東雲指定通所介護支援事業所の家族会に参加させて頂きました。

地域包括支援センターの事業紹介として、認知症予防ゲームの体験や、



● 民生委員定例会の様子

体の弱まりをチェックして、ご自身の体について振り返って頂きました。

介護者同士の交流場面では、同じ立場の人と話をしたかったということや、繰り返し必要なお世話と介護を受ける方のご様子に、ついカットになってしまうこともあるなど、お互いに胸の内を話し、情報交換もして、笑顔になってお帰り頂けたと思います。

地域包括支援センターは、各地域でも介護者交流会を開催しています。

孤立しない介護と、介護者の生活が介護のみにならないように、今後もお手伝いをさせて頂きます。(松下)

認知症サポーター養成講座の開催

尊厳をもって最後まで自分らしくありたい。これは誰もが望むことですが、この願いを阻み、深刻な問題になっているのが「認知症」です。今や老後の最大の不安となり、超高齢社会を迎えようとする日本にとって最重要課題の一つとなっています。認知症の人が記憶障害や認知障害から不安に陥り、その結果まわりの人

との関係が損なわれることもしばしば見られ、家族が疲れきって共倒れしてしまうことも少なくありません。

しかし、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことは可能です。その為には、地域の支え合いが必要です。だれもが認知症についての正しい知識をもち、認知症の人や家族を支える手だてを知っていれば「尊厳ある暮らし」をみんなで守ることが出来ます。

平成十七年から、厚生労働省では「認知症を知り地域をつくる十ヵ年キャンペーン」を開始しました。豊橋市でも、支援者である「認知症サポーター」を多数養成し、認知症になっても安心して暮らせる町を市民の手によってつくっていくことを目指しています。

福祉村地域包括支援センターでも講座を開催し、現在までに二四六名のサポーターが誕生しています。四月二十九日、第二さわらび荘の家族会で講座を開催し、新たに五四名のサポーターが誕生しました。認知症介護の経験者から、「もう少し早く



● 認知症サポーター養成講座の一場面

このような講座が聞けていたら、もう少し上手に生活できたのではと感じた」「コントやグループ討議、ロールプレイがわかり易かった」という意見をいただきました。今後も、講座内容を工夫しながら更なる普及啓発活動に努め、一人でも多くのサポーターを増やしたいと考えています。

(三田)

福祉村、さわらび各地域包括支援センターでは、お年を重ねてもその方らしい生活をお送り頂けるように、これからも地域の方とご一緒に取り組みを行っていきます。

「CBC自動車学校チャリティーイベントをプロデュース」

左近が魅せるDream & Power

F1電撃復帰が決まり、今まさに夢を掴み、光を放つ左近選手の熱い声に呼応し、多くのゲストがつどい、一万人を超える観衆が熱狂した！



平成22年4月17日、HRT F1
チーム（イスパニア・レーシング）と
テスト&リザーブドライバー契約
を結び、再び大きな夢をつかむこと
となった左近選手。その左近選手が
4月25日、CBC自動車学校で行わ
れたチャリティーイベントにイベ
ント・プロデューサーとして参加し
た。このイベントは、実際に夢をつ
かんだゲストたちの生の声を直接
聞くことで『夢』『希望』『勇気』を持
つことの素晴らしさを伝えたいと
いう左近選手の強い思いが詰まっ
たものであった。

イベントには左近選手の熱い思
いに賛同した河村たかし名古屋市長
や元・中田ドラゴンズの立浪和義
氏をはじめ各界から超大物といえ
るゲスト達がつどった。そしてなん
と延べ1万人をこえる観衆がつめ
よせ会場は熱い熱気に包まれた。そ
の中心で、誰よりも強い光を放ち、
熱いメッセージを送ってくれたの

山 本 左 近

が左近選手であった。
夢を持つこと、かなえることの
素晴らしさを伝えて

メインイベントの一つとして行われたトークショーにおいては、左近選手から、プロレーサーとなるまでの道のりや、F1というレーサーとしての頂点を極めるまでの努力、そして強い気持ちを持ち続けることの大切さを大いに語られた。なにより、「夢をかたることは何も恥ずかしいことではない。」「誰がなんといっても自分の夢をあきらめることとはしてはいけない。」というように、大きな夢をつかんだ第一人者として、私たちに「夢」の大切さを伝えてくれた。

教習所をサーキットへと一変させた興奮のデモラン!!

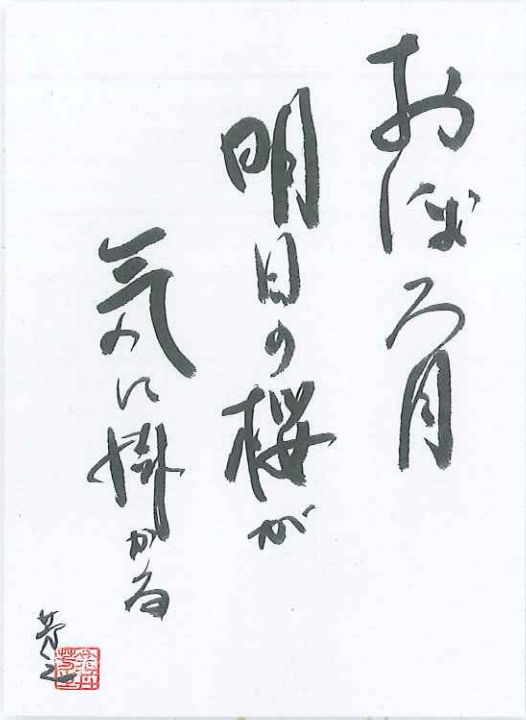
また、このイベントにおいて左近選手は、言葉でのメッセージだけでなく、なんと実際にフォーミュラカーを走らせることによって(デモラン)私たちを魅了してくれた。自動車学校内のコースという実際のサーキット

トのコースより遙かに狭い中であるにもかかわらずフォーミュラカーを華麗に、そしてアグレッシブに操った左近選手。コーナーでリアを滑らせ、派手なホイールスピンを決め、本番さながらのスタンディングスタートまで披露し、詰めかけた観衆に、さながらF1のレースを見ているかのような臨場感を与えてくれるものであった。

F1参戦に向けて、イベント参加も危ぶまれるほどの過密なスケジュールの中、F1レーサーとしての華麗でパワフルな走りで私たちを魅了し、夢を語ることの大切さ、夢をけしてあきらめない強い心、そして夢をつかむことの素晴らしさを私たちの胸に強くとどろかせてくれた左近選手。

これからいよいよ左近選手は名古屋のファン、そして日本中のファンの期待をのせてF1の大舞台へと飛び立つこととなる。左近選手の魅せてくれる大きな大きなDream & Powerに期待が高まるばかりだ。(鳥居)





美しい桜の花を乞い願うのは、心が豊かであれば万人共通でありたいと願うものである。

俳句浪漫

直筆の書で 季節を彩る

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員 金井 芳之



おぼろ月 明日の桜が 気に掛かる

毎年のものであるが、桜は開花時期が話題に上る。天候が順調であれば開花宣言、三分咲き、五分咲き、満開、そしてはらはらと散って最後は葉桜となる。今日のように気候不順だとこのような絵に描いた通りには運ばない。満開に到達する以前に既にちらほらと散りかけている。とはいえども、誰しもが美しい桜の花が一日も長く咲き続けて欲しい気持ちは同じだと思う。その意味で桜の季節では月の輝きが気になるのだ。たとえ今宵の月がおぼろであろうが、また明日は晴れて

平成22年度 さわらび大学公開講座開講のお知らせ

☆参加費無料でどなたでも受講できます

6月のさわらび大学

- 6月10日(木) 「高齢者の水分摂取」
講師 ▶ (株)大塚製薬工場
- 6月24日(木) 「接遇とコーチング(仮称)」
講師 ▶ (株)ハーモネット

7月のさわらび大学

- 7月8日(木) 調整中
講師 ▶
- 7月22日(木) 調整中
講師 ▶

平成22年度のさわらび大学の開催

時間◎第2・4木曜日、午後3時～4時
会場◎福祉村病院会議室
尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

講座内容へのご意見、ご要望などございましたら下記までお問合せください。

◎お問い合わせ、受講申込み
軽費老人ホーム若菜荘
☎ (0532)48-1138 FAX (0532)48-2365

いかり先生の
”お遍路さん“
— 四国八十八ヶ所霊場めぐり —
● 千枚どおしのお札
福祉村病院 副院長 伊莉 弘之

第47回

第五十五番別宮山南光坊から第五十六番金輪山泰山寺までは三キロ、徒歩五〇分、車で一五分。
泰山寺は金輪山の山麓にある。石垣と白壁の塀に囲まれた少し高いところに境内がある。階段を一〇数段ほど上ると、横に細長い金堂から大師堂まですべて見渡せる広さだ。

八一五年に弘法大師がこの地を巡錫中、梅雨で蒼社川が氾濫していた。この川は現在の今治市の南東を流れているが、当時は毎年のように氾濫を繰り返したために、地元では「人取川」と呼ばれ、悪霊のたたりと恐れられていた。弘法大師は村民を指導して堤防を築き河川に壇を作り土砂加持の秘法を行った。その満願の日、空高くに延命地藏が現れた。大師はその地藏尊を刻み本尊として泰山寺を開基した。「弘法大師はすごいね、治水工事も指導できるし、地藏さまも呼びだせる、まるで神様みたいだ」と私。「お



大師さまは本当に実在したのでしょうか」と妻。「もちろん」と母。

弘法大師がこの寺を建立した時の手植えの「不忘松」が大師堂の前にあつたが枯れてしまい、いまはその子株が成長している。「千年以上も生きていながら、すごい松だね。弘法大師が植えると違うのかなあ。」と小四の娘。



泰山寺には「千枚どおしのお札」がある。水と一緒にお札を飲むとすべての願いが叶うというが、とくに歯痛には効くという。「私ね、歯が痛いからお札を飲もうかな。」と中2の娘。「まず、きちんと歯磨きをしないとね。」と私。「おねえちゃん、ずるして何か願いを叶えようとしているのじゃない。何か買ってもらいたいんだ、きつと。」と小四の娘。「ちがうよ。」と中2の娘。

あとから娘に尋ねると、あの頭に黄色いタオルを巻いた二十歳すぎの若い男性がなぜか気になったらしく、その時ふと、もう一度会いたいと思ったのだという。

母がこっそりと「千枚どおしのお札」を購入したことを私は知らなかった。家族みなで四国八十八ヶ所巡りをしたがっていた亡き父の望みをかなえてやりたいという母の願いに、その時の私は全く気付いていなかった。

Vol. 28
relay column
さわらび会のわ
ジューグム リハビリテーション部長
西村 公彦



皆さん、「朱夏（しゅか）」という言葉をご存じですか？

調べてみると古来より一生（ライフサイクル）を季節で表現する風習があるそうで、「春・夏・秋・冬」の四季ですが、それに陰陽五行による色を足して…

- 春Ⅱ青色：青春 16歳〜20歳代
- 夏Ⅱ朱色：朱夏 30歳〜40歳代以降
- 秋Ⅱ白色：白秋（はくしゅう）
- 冬Ⅱ黒色：玄冬（げんとく）と表します。

「朱夏」は夏の盛りという捉えかたです。自分自身40歳を過ぎ、少し遅めの結婚、子育てをしている今が燃えるような夏の時代であり、青春の頃とは違った大変さもありますが公私とも充実している時期だと思えます。四季にはそれぞれの特徴があり楽しみ方も違います。時代もまたその時々で違いがあり良さがありません。「輝く新緑の春」「燃える太陽の夏」「収穫後の一息ついた秋」「卓越した心穏やかな冬」皆さんもそれぞれの季節、それぞれの時代を精一杯楽しんで過ごしましょう。

次回は障害者支援施設 あかね荘支援員 白井三千夫さんです。

- ◆福祉村病院・ジユゲム
 - 4月16日 病院幹部会(理事長出席)
 - 20日 感染対策委員会
 - 21日 第二病棟家族会
 - 22日 朝食情報交換会(理事長出席)
 - さわらび大学「高齢者福祉」特別養護老人ホーム第二さわらび荘長坂敏幸副施設長
 - 医療安全委員会
 - 5月8日 早蕨編集会議(理事長出席)
 - 30日 日総研主催の公開セミナー(日本橋中央ビル・東京都)にて伊苺弘之副院長が「認知症ケアマスター」(第2回)について講義
 - 10日 施設長会議(ジユゲム)に理事長出席
 - 11日 ジユゲム幹部会
 - 12日 ジユゲム家族会
 - 13日 さわらび大学「認知症について」福祉村病院伊苺弘之副院長
 - 14日 日総研主催の公開セミナー(「MYビル」名古屋市中)にて伊苺弘之副院長が「食べない、入浴しない、眠らないへのアプローチ」について講義
 - 15日 ケアマネ部会(白井 名古屋)
 - 22日 老人ホーム三河部役員会(施設長 豊田市)
 - ◆さわらび荘
 - 4月20日 ケアマネ部会(白井 名古屋)
 - 22日 老人ホーム三河部役員会(施設長 豊田市)
 - 26日 施設長会議
 - 27日 包括業務打合せ会(松下・勝山市役所)
 - 市介護保険事業者等連絡会全体会(施設長・渡邊・白井・浅見・日下部・松井 ライフポートとよはし)
 - 5月5日 高山老人クラブ(松下・勝山 高山校区市民館)
 - 6日 県社協高齢者部会・総会(施設長 名古屋)
 - 7日 西郷老人クラブ(松下・勝山 西郷校区市民館)
 - 7日 西郷老人クラブ(松下・勝山 西郷校区市民館)
 - 11日 国保連審査会(施設長 名古屋)
 - 11日 主任介護支援専門員職種別ケア会議(白井 つつしが丘地域福祉センター)
 - 12日 牛川民生委員定例会(松下・白

- ◆第二さわらび荘・カサデローザ
 - 4月16日 愛老協経営制度委員会(山本施設長 名古屋)
 - 19日 県介護支援専門員協合理事会(長坂 名古屋)
 - 20日 市介護保険事業者等連絡会運営委員会(山本施設長 市役所)
 - 21日 全老協協正副会長委員長会議(山本施設長 東京)
 - 22日 老人ホーム三河部役員会(山本施設長 豊田)
 - 27日 施設長会議
 - 27日 市介護保険事業者等連絡会全体会(山本施設長、野崎)
 - 28日 豊橋善意銀行45周年「平成22年度感謝のつどい」(長坂・松原 豊橋総合体育館)
 - 29日 豊栄会来荘
 - 5月6日 県社協高齢者部会常務委員会、総会(山本施設長 名古屋)
 - 7日 県社協社会福祉施設経営者委員会常任委員会、総会、セミナー(山本施設長 名古屋)
 - 11日 全老協協理理事会、正副会長委員長会議(山本施設長 東京)
 - 12日 豊老協総会(山本施設長)
 - ◆珠藻荘
 - 4月16日 自立支援協議会就労支援専門部会(施設長・田中 市役所)
 - 19日 家族会役員会
 - 21日 豊橋手をつなぐ親の会総会(施設長 さくらピア)
 - 身障協施設長会(施設長 名古屋)
 - 愛知県自立支援協議会人材育成部会(松井伸 名古屋)

- ◆若菜荘
 - 4月16日 インド福祉村協会ワーキングチーム勉強会(施設長 名古屋)
 - 20日 誕生会
 - 22日 福祉村保育園交流会
 - 29日 老人ホーム三河部役員会(施設長 豊田)
 - 30日 喫茶なかよし
 - 5月6日 インド福祉村協合理事会(施設長 ジユゲム)
 - 各階別会議
 - 全軽協総会(施設長 東京)
 - 10日 食生活会議
 - 11日 若菜会役員会
 - 12日 豊老協施設長会議(施設長 第二さわらび荘)
 - 13日 懇談会
 - 管内栄養士研修(宮脇 豊橋保健所)
 - ◆あかね荘
 - 4月16日 地域支援事業所会議
 - 17日 誕生日会
 - 21日 調理教室
 - 23日 支援会議
 - 24日 木藤会計監査
 - 25日 語りへの会
 - 5月6日 語りへの会
 - 8日 ケアホーム会議
 - 9日 家族会総会
 - 12日 個別支援会議
 - 13日 事務所工事開始
 - 13日 ケアホーム会議

- ◆明日香
 - 4月16日 回診日
 - 19日 生活介護事業面談(23日)
 - 田原福祉専門学校実習受入れ3名(26日)
 - 23日 東三セブ施設長会(施設長 ワークス岩西)
 - 26日 木藤会計監査
 - 28日 工賃評価会議
 - ヘルパー会議
 - 29日 家族会総会
 - 30日 回診日
 - 5月10日 自治会
 - 30日 工賃支給日
 - 田原福祉専門学校実習受入れ3名
 - 11日 世話人会議
 - イエローシート交換会(ジャスコ豊橋南店)
 - 12日 社会保険健康診断(保健指導)
 - 13日 デンソー販売
 - 14日 ケース会議
 - 15日 回診日
 - クラブ活動日
 - ◆しろがね
 - 4月26日 TFM合唱団来荘
 - 28日 豊橋善意銀行45周年「平成22年度感謝のつどい」(石黒・鳥居 豊橋総合体育館)
 - 5月14日 療育支援研修(村上 小牧市)
 - ◆各施設共通
 - 4月16日 在宅医療福祉部会議
 - 20日 グリーンロード整備
 - 22日 朝食情報交換会
 - 5月10日 さわらび大学
 - 11日 施設長会議
 - 11日 在宅医療福祉部会
 - 12日 障害者担当会議
 - 13日 さわらび大学
 - 14日 法人監事監査
 - 14日 栄養士会議

さわらび会後援会寄附ご芳名

平成22年4月15日～5月14日

市内岩屋町岩屋下47-8	河合幸一氏	300,000円
市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
市内高師町字西沢106-5	浅倉茂氏	1,000円
市内東雲町46	兵藤商店	12,000円
市内入舟町21	㈱三恵薬品	10,000円
市内野依町字西物草12	家具の街ヨコモランド	10,000円
新城市南畑 74	光田屋㈱	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷㈱	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内萱町30	㈱中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内問屋町15-5	㈱スズケン	10,000円
市内東新町314	㈱日医工新和	10,000円
市内東田町154	㈱竹田商店	10,000円
市内東脇三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス㈱	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海㈱	10,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	3,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	20,000円
	匿名希望氏	14,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。

計 506,000円

現在までにご寄附いただきました金額は
833,073,578円

ご寄付は、さわらび会の病院・施設なら、どこでも受け付けております。皆様の御協力をお願い致します。

みんなの力でみんなの幸せ

社会福祉法人

さわらび会後援会からの
お願い

さわらび会後援会では、広く社会の善意のある方々に後援会員になっていただき、そのあたたかい浄財をもって福祉村の建設並びに運営していくよう支援しております。

皆様方の、ご入会を心からお願い申し上げます。

後援会会長 神野信郎

●お問い合わせは 珠藻荘 ☎(0532)47-1050まで

＊お礼コーナー ありがとうございます＊

※印は豊橋善意銀行を通して

- ▼長坂様 ねぎ寄贈※(あかね荘)
- ▼荻野陽三様 ほうれん草・たけのご寄贈(珠藻荘)
- ▼豊楽様 お菓子寄贈(第二さわらび荘)

インド福祉村協会寄附ご芳名

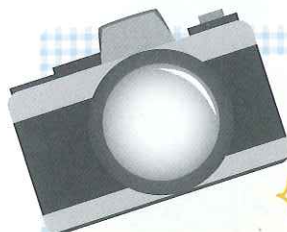
平成22年4月11日～5月10日

名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	3,200円
名古屋市昭和区山花町50	医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	10,000円
豊明市三崎町中ノ坪24-13	平尾秀夫氏	10,000円
岐阜県郡上市美並町白山1841-1	古田雅久氏	10,000円
大阪府大阪市中央区淡路町1-2-10	中村義博氏	5,000円
市内東小田原町121	横井 裕氏	5,000円
名古屋市北区西志賀町4-54	長尾好泰氏	5,000円
名古屋市千種区谷口町5番30号	松本義彦氏	5,000円

計 53,200円

募金方法(インド福祉村)

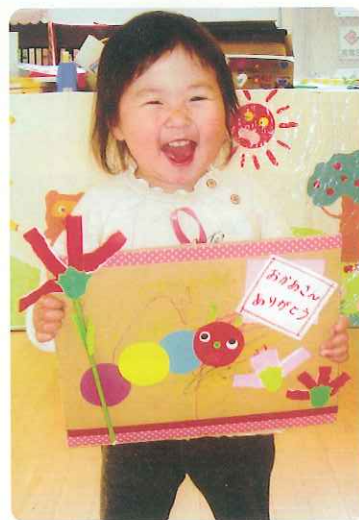
- 振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座
口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会
- 連絡先 軽費老人ホーム若菜荘 ☎0532-48-1138まで



今日のワンショット



豊橋技術科学大学吹奏楽部の皆さんによるジュゲムホールでの演奏会



母の日のプレゼント「お知らせボード」
福祉村保育園 桃組 黒柳彩花です。

「おかあさん、いつもありがとう! 毎日、保育園でたのしく遊んでいます。」

心穏やかに



「聖観音像」 鈴木 哲夫
(珠藻荘利用者家族)



小國 せつ子
(若菜荘)

充実した医療と福祉 みんなの力でみんなの幸せを

社会福祉法人 医療法人 さわらび会 理事長 山本 孝之

- 特別養護老人ホーム さわらび荘
☎(0532) 54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウス カサ デ ローザ
☎(0532) 37-1209
- 軽費老人ホーム 若菜荘
☎(0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘
☎(0532) 47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘
☎(0532) 48-2825
- 福祉村病院
☎(0532) 46-7511
- グループホーム白珠
☎(0532) 66-0082
- 障害福祉サービス事業所 明日香
☎(0532) 46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね
☎(0532) 48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町)
☎(0532) 69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生
☎(0532) 38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原
☎(0531) 24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム
☎(0532) 46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市委託)
☎(0531) 45-3828

【表紙写真】「咲いた咲いたすきに咲いた」(若菜荘 小國せつ子)

編集後記

毎号このさわらび誌で医学講話や長寿医学研究所研究通信のコーナーで医学情報をお届けさせて頂いております。医療と福祉の連携、この言葉はこれからはますますの高齢化社会をむかえる日本にとって大変に重要なキーワードです。そしてこのキーワードをまさに実践しているのがさわらび会であり、その情報を出来るだけ多くの皆様にお届けするのがこのさわらび誌の役割でもあります。また、私達職員にとってもこのさわらび誌は医療、高齢者福祉、障害者福祉など、自分の専門分野以外の情報を勉強する重要な役割を果たしています。医療、福祉の様々な情報が詰まったこのさわらび誌を皆様の幸せの実現に役立てて頂ければ幸いです。(江川)

さわらび
SAWARABI

2010年6月1日発行 早慶 第446号 毎月1日発行
(昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
編集責任者・江川和郎 印刷・共和印刷(株) 定価・100円